

中学生議員が提言

9月22日、役場3階の議場で「二日子ども議会」が開催されました。この日、議員として質問席に立ったのは町内の中学生16人。本物の議会さながらに活発な質問を行い、中学生の視点からよりよいまちづくりを提案しました。



邑楽中学校
小澤 真司郎 議員
(新中野・33区)
Ozawa Shinjiro

男女平等への取り組み

町でジェンダーレスへの動きはありますか。ジェンダーレストイレの設置、性差による賃金の違いの改善など、町ではどのように対応していますか。

住民保険課長―町では、男女が意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会の実現に向けて「男女共同参画推進計画」の策定に取り組んでいます。以前は女性保育士は保母、男性保育士は保父、保健師については、女性保健師は保健婦、男性保健師は

保健士でした。今では現在の表現在合わせた保育士、保健師の名称で職員募集を行っており、性差による賃金の違いもありません。ジェンダーレストイレの設置について、町では現在未設置です。今年の4月に某所で導入されたジェンダーレストイレにおいては、批判と苦情が相次ぎ4カ月で消滅するなど、設置にはクリアするべきハードルが多くあるようです。

今でも、私たちの周りには、虐待、いじめ、暴力、偏見などの差別があり、最近ではSNS上で誹謗中傷するなどの差別もあります。皆が人権を尊重した考えと行動をとることができればジェンダーレスはもちろんのこと、差別のない明るい未来が訪れると考えます。



邑楽中学校
時田 陽輝 議員
(前瀬戸宿・8区)
Makita Himari

地域の人の関わり

コロナ禍で、人々との交流が少なくなりました。高齢者が孤立してしまったり、自分の近所にどんな人が住んでいるのかわからない人が増えたりしてきています。地域の交流活動は大切だと考えますが、この状況を改善する政策はありますか。

福祉介護課長―高齢者の社会参加や介護予防を促す地域づくりを進めるため、地域住民や民間企業、各種団体などさまざまな人が連携し支え合える体制づくりを目的とした「匡助けネット

ワーク」という組織が活動しています。匡助けネットワークでは、イベントなどの世代間交流や買い物支援、高齢者の見守り活動やゴミ出し支援など、高齢者の孤立を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしているよう、自治会などと連携した活動を行っています。また、各行政区でも高齢者が集まれるサロンを開催している。そこで講師を派遣し、趣味や健康づくりのサークルへの支援をすることで、1人でも多くの人が地域の交流活動に参加できるよう取り組んでいます。

それから、町には52名の民生委員・児童委員があり、各行政区ごとに1〜4名いる委員が、独り暮らしの高齢者を中心に訪問や、電話で相談などを行っています。高齢者一人一人に寄り添いながら、住民と町とのパイプ役として活動しています。

時田議員の言うように地域交流活動は大切なことです。これからも町の皆さんで支え合っているように、町としても取り組んでいきます。



邑楽中学校
石井 実桜 議員
(前原・4区)
Ishii Mio

ごみステーションの管理

ごみステーションに指定されている日以外にごみが出ていることがあります。町ではどのように管理をしているのか、ごみ処理にかかる費用や周知の方法なども教えてください。

町長―ごみステーションの管理は、各地域の生活環境委員さんを中心に自治会の住民の皆さんにお願いしています。しかし、ルールがきちんと守られず、回収日以外に出されてしまうことがあります。そのような時は、注



邑楽中学校
麦倉 陽斗 議員
(下中野・1区)
Mugikura Haruto

学校の机や椅子などの備品

中学校内の机や椅子を見るとかなり古い物があり、机の破損部分によってはプリントなどを

書くときに支障が出ることも。町で小中学校に充てられている予算はどのくらいで、どのように使われていますか。

学校教育課長―古くなってしまった机や椅子は、状況に応じて買い替えるための予算を学校ごとに確保し対応しています。町の小中学校のための予算ですが、令和5年度では、町内6つの小中学校合計で約1億7千万円です。予算の使い道は、机や椅子などの備品代に、電気料、水道料、用紙代、図書購入費、通信費などみなさんが普段使っている幅広いものに充てられています。普段気付きにくいものは、消防設備や電気設備を専門家が点検して学校の安全を守るための費用もあります。また、校舎などを改修する工事費や修繕費などにも充てられています。

みなさんが安心して授業を受けられるように、学校の先生たちと机や椅子の現状を確認し、支障があるものについては新しいものに交換するようにしていきたいと考えます。



邑楽中学校
秋野 泰慈 議員
(前原・4区)
Akino Taiji

公園の新しい設備

公園の遊具が撤去されることが多いですが、これから新設する予定はありますか。幅広い年齢層が使用する設備をつくり、異年齢の交流ができれば面白いと思います。中央多目的広場にサッカーゴールを設置するのはどうでしょうか。

建設環境課長―町では公園の遊具を安全に使用してもらうため、都市公園法に基づく公園施設の安全点検を実施しています。遊具の状態を総合的に判断し、状態が悪く修繕ができないものについては撤去を行っています。新しい遊具の設置については、提案していただいたことも踏まえ、どの遊具がどの場所に必要なのか十分に考えていきたいです。

中央多目的広場にサッカーゴールをということですが、広場はサッカー以外にも、グラウ

ンドゴルフやドックススポーツなどさまざまなスポーツやイベントで使用されるほか、群馬県ドクターヘリの離着陸に利用される場合があります。また、災害などにより町民の住居まで被害が出ってしまった場合には、応急仮設住宅の建設予定地として広場が指定されています。

このように、中央多目的広場はさまざまな用途で使用できる広場のため、サッカーゴールを設置するといった固定的な利用は現在想定していません。そのことをぜひご理解いただき、公園を多目的、多角的に利用していただければと考えます。





邑楽中学校
長谷川 凜音 議員
(横町化楽・3区)
Hasegawa Rion

学校内のエアコン設置

邑楽中学校では体育館や教室にエアコンが設置されていますが、部室や生徒会室などは設置がされていません。エアコンを設置するにはどのような手順が必要なのか教えてください。

町長—まず最初にエアコンを設置する必要性を学校と教育委員会で検討します。設置することが妥当と判断した場合は、設置工事に必要な予算を町に要求します。予算要求では、町長や予算編成担当課に対し、エアコン設置工事が必要な理由や費用について説明をします。ここで了解が得られると予算に工費が計上されます。次に、予算に計上された費用などについて、今皆さんがいるこの議場で、町議会の議員の皆さんに説明します。そこで賛成をいただくと、工費を実施する準備を始めることができます。この後いくつかの手続

を経て、ようやくエアコンが設置されます。
現在使用している教室のエアコンは、設置から10年以上経過しており、数年後には更新時期になります。更新時期が来たら、議員のご質問も参考にしつつ、教室以外の設置についても検討していきます。



邑楽中学校
宮村 羽奏 議員
(前原・4区)
Miyamura Wakana

町の防犯対策

防犯対策として街灯や防犯カメラの設置を増やしたほうがいいと思います。また、街灯の設置場所は誰がどのように決めていいのか教えてください。

総務課長—街灯の設置については、各行政区から町へ申請を上げることになっています。設置の要望があった場合には、その緊急性や必要性などを行政区の中で話し合い、その上で書類を役場総務課の交通防災係に提出します。その後もう一度町の職員で確認し、必要な場所だと判

断すれば設置するという手順です。皆さんも街灯が必要だと思った場所があれば、まず保護者の人から地区の行政区の役員さん、そして区長さんへ相談してみてください。

町の防犯カメラについても、もし必要な場所があれば、警察などと話し合いをして設置を進めていきたいです。最近空き家や空き地も増えており、事件などが身近で起きる可能性もあります。所有者や相続人に適切な管理をお願いして、事件が起らないように対応していきたいと考えます。



邑楽中学校
飯田 絢萌 議員
(下中野・1区)
Iida Ayame

学習用パソコンの予備数

学校で使用しているパソコンは、正しく使っても壊れてしまうことがあります。その際に配られる貸出用パソコンの数も少なくなっているため、台数を増やすことはできますか。

学校教育課長—令和3年から1

人1台のパソコンの貸し出しが始まり、いろいろな場面で活用されるようになった一方で、破損も増えていきます。予備機は他の小中学校にも配備されていて、もしどこかの学校で予備機が不足したら、他の学校の分を貸し出す体制を整えています。6つの小中学校にある予備機は全部で140台ほどあります。それらの予備機が全て出払ってしまおうという事態は生じないと想定していますが、今後も全主体として不足するような場合は、台数を増やすことも検討する必要があります。

教育長—町では、邑楽町立学校管理規則、管理運営規則において、夏季冬季学年末などの休業日を決めていきます。休業日が決まると、それに伴って始業式が決まります。



邑楽中学校
阿部 百花 議員
(前谷東原・2区)
Abe Momoka

学校の始業日と熱中症リスク

始業日の日程はどのように決めていますか。最近の夏は暑く、熱中症にもなりやすいです。夏休みを少し延長し、涼しい時期から新学期を始めることで、熱中症のリスクを減らすという対策はどうでしょうか。

では、夏休みを延長するなどのような影響があるかという点、授業時間の確保が難しくなります。現在も行事を縮小したり、始業式、終業式、定期テスト時に授業を行うなど、各学校で工夫しながら、何とか授業時数を確保しています。中学校では合唱コンクールや体育祭、スキー教室などの行事がありますが、そのような時間の確保も必要となります。

近年は猛暑の期間がとて長く、熱中症対策も感染症対策と並んで重要になります。皆さんが安全に安心して学校生活を送るために、阿部議員の提案も含め、今後議論を続けていきたいと考えます。



邑楽中学校
清 優希愛 議員
(藤川・16区)
Sei Yukina

信号機の設置

信号機が必要な場所はどのように決めていきますか。また、そのような交通に関わる予算はどの程度ありますか。

総務課長—信号機の設置については、群馬県公安委員会が判断します。設置を希望する場合、まず町が大泉警察署の交通課に要望書を提出します。要望を受けた警察署は役場の担当職員と相談し、公安委員会に申請するかどうか決めます。信号機を設置するには基準があり、必要性の高い場所に集中して整備を行うため、基準もかなり厳しいものになっています。町としてもいろいろな人の意見をしっかりと確認し、本当に必要かどうかをよく考えた上で要望しています。また、町ではカーブミラーの設置などの交通安全対策の費用として、本年度は約5百万円の予算があります。今後も危険な



邑楽南中学校
新井 一輝 議員
(寺中・26区)
Arai Kazuki

道路の安全

交差点で建物が陰になって車の通行が見えづらい場所があります。小学生の通学路にもなっているため、改善できるようにご検討をお願いします。

総務課長—町では教育委員会、警察、道路管理者などで組織している通学路安全推進会議を開き、学校や行政区から要望があった場所に対して点検を行ったり、対策が必要かどうかを協議したりしています。そして必要な場所には看板などを設置し、注意喚起を行っています。看板やカーブミラーの設置は安全に通行するための一つの対策ですが、整備しても車を運転する人、自転車に乗る人、歩行者の一人一人が交通ルールやマナーを守らないと交通事故はなくなりません。町から交通事故



邑楽南中学校
原田 律 議員
(西ノ根宮内中島・24区)
Harada Ritsu

通学路の街灯の設置

町は街灯が少なく、日が落ちる時間には道が真っ暗になってしまいます。部活動を終えて帰る時危ない目に遭ってしまいうちも。街灯を増やすことはできないでしょうか。

副町長—街灯を作るということは、設置するのも、維持管理するのもお金や人の手間がかかります。そのため誰か1人が要望すれば必ず付くというものではなく、街灯を設置するための一定のルールや手順が決まっています。手順などについては先ほど総務課長の説明にあったとおりですが、その時の判断材料の一つとして、そこを通る人たちの状況を確認するために地元の人にお話を聞くこともあります。また、民家のすぐ近くだとまぶしくて寝られないといったこと



邑楽南中学校
間下 静蘭 議員
(大谷端宿赤東・31区)
Mashimo Seira

商業施設による町の活性化

町には大きなショッピングモールや遊び場がありません。小さな子供からお年寄りまでくつろげる商業施設を作ることばできませんか。

都市計画課長—大型商業施設ができることによるメリットは大きいですが、それに伴うデメリットもあります。主なものを



3つ上げると、まず1つ目は、交通渋滞など近隣の生活に支障が出る可能性があります。2つ目は、周辺の整備や上下水道のアクセスをする道路など、町が費用を負担して整備する必要があります。3つ目は、遅くまでの営業に伴う騒音や風紀の悪化が懸念されることが挙げられます。そこで町では少子高齢化を踏まえ、地域に密着した商業振興を課題として取り組んでいます。若い人も年配の人もみんなが幸せを実感できるような、将来の邑楽町に必要な農業商業工業バランスのとれたまちづくりを目指して皆さんで話し合ってください。





邑楽南中学校

小林 さくら 議員

(馬場大林・25区)

Kobayashi Sakura

町のふるさと納税

千代田町がふるさと納税の受入額が30億円超えで、群馬県1位という記事を読みました。町の返礼品ではどのようなものが人気ですか。

財政課長―令和4年度の町の返礼品で1番人気があったのは、リクライニング機能付きのアウトドアチェアでした。2番目はドライヤー。3番目は電動ルームランナーといった内容です。
令和4年度のふるさと納税寄付金は4387件で、寄付金額は1億7074万8600円でした。かかった経費を差し引くと9278万1165円となり、これが実質的に寄付していただいた金額です。これに対して、町に住んでいる人が、他の自治体にふるさと納税を行い、住民税の税額控除を受けた金額を差し引くと5903万689円

の黒字となります。

令和3年度まではずっと赤字でしたが、令和4年度に初めて黒字になることができました。今後も黒字になるように努めていきます。



邑楽南中学校

小林 輝磨 議員

(本郷江原・29区)

Kobayashi Teruma

中学校の生徒数の差

邑楽南中と邑楽中の生徒数には大きな差があります。南中は1つの部活動あたりの人数も少なく、廃部になってしまいうちとも。生徒数の差を何とか解消していただけないでしょうか。

教育長―まず生徒数の確認ですが、9月1日現在で、邑楽南中学校は200人。邑楽中学校は412人です。二つの中学校の生徒数の差ですが、すぐに解消することは難しいのが現状です。これは学校や教育委員会だけでなく、町全体の将来を見据えて検討する必要があります。
次に部活動のあり方について、国の示す地域移行という考

え方で取り組みが進められています。これまで学校が担ってきた部活動を徐々に地域の活動に移行するもので、県内の一部の学校では、平日は学校で先生が指導し、週末は地域の団体の活動に参加して、地域の人を指導者として取り組むという形を試みています。町でも吹奏楽の分野でこの検証を始めていますが、いろいろな課題も出ており、その解決策を探っているところですよ。

え方で取り組みが進められています。これまで学校が担ってきた部活動を徐々に地域の活動に移行するもので、県内の一部の学校では、平日は学校で先生が指導し、週末は地域の団体の活動に参加して、地域の人を指導者として取り組むという形を試みています。町でも吹奏楽の分野でこの検証を始めていますが、いろいろな課題も出ており、その解決策を探っているところですよ。



邑楽南中学校

櫻井 悠斗 議員

(本郷江原・29区)

Sakurai Yuto

公共路線バスの運行

町を巡回している公共バスはバスターミナルが完成してから太田方面に向かう路線がなくなりしました。どのような理由で廃止したのか教えてください。

企画課長―太田行きのバスについて、その運行に係る経費はすべて町が負担していて、年間の町負担額はおよそ1千万円でした。その利用実態を見ると、日

常的に利用する人はおらず、主に太田市内の人の生活路線となっていたのが実態でした。

一方で大事なのが東武鉄道小泉線の存続です。小泉線はこの10年間で約23%も乗降客が減少しており、将来的にはさらに減少する推計値も出ています。こうしたことから、今後の公共交通のあり方として、大きく次の方向性を定めました。まず1つ目は、鉄道を市町村間の広域幹線に位置付けたこと。2つ目は、鉄道につなげるためにバスを町内循環線とし、高齢者が日常生活に必要な施設に行くための路線を構築することで、広域幹線である鉄道の補助系統としたこと。これにより、以前より移動の時間はかかりますが、町内循環線から鉄道に乗り換えることによって、太田方面に移動する手段は確保されています。
公共交通は時間も手間もかかるので決して便利な乗り物とは言えないですが、運転免許を持たない人にとってはなくてはならないものです。今の生活がずっと続いていくような持続可能なまちづくりを目指します。

常的に利用する人はおらず、主に太田市内の人の生活路線となっていたのが実態でした。
一方で大事なのが東武鉄道小泉線の存続です。小泉線はこの10年間で約23%も乗降客が減少しており、将来的にはさらに減少する推計値も出ています。こうしたことから、今後の公共交通のあり方として、大きく次の方向性を定めました。まず1つ目は、鉄道を市町村間の広域幹線に位置付けたこと。2つ目は、鉄道につなげるためにバスを町内循環線とし、高齢者が日常生活に必要な施設に行くための路線を構築することで、広域幹線である鉄道の補助系統としたこと。これにより、以前より移動の時間はかかりますが、町内循環線から鉄道に乗り換えることによって、太田方面に移動する手段は確保されています。
公共交通は時間も手間もかかるので決して便利な乗り物とは言えないですが、運転免許を持たない人にとってはなくてはならないものです。今の生活がずっと続いていくような持続可能なまちづくりを目指します。

未来に向けた町への提言

堂々とやり遂げた中学生議員たち

